

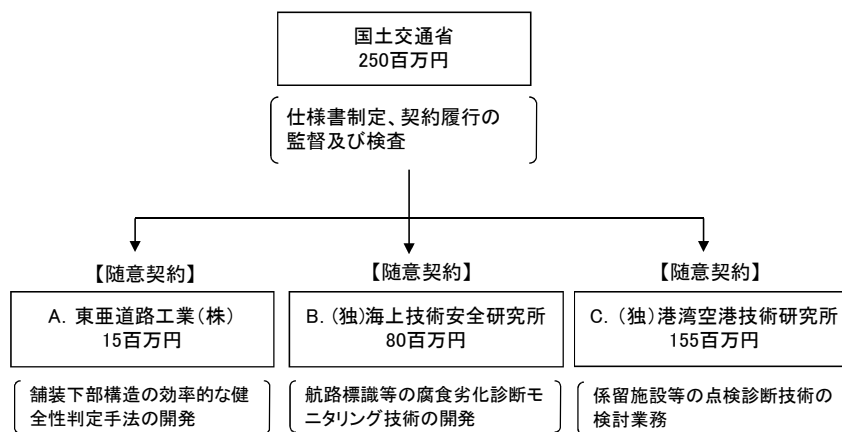
平成25年行政事業レビューシート

(国土交通省)

事業名	社会資本の老朽箇所等の効率的な特定手法の確立		担当部局	総合政策局	作成責任者			
事業開始・終了(予定)年度	平成24年度/平成25年度		担当課室	技術政策課	課長	吉田 正彦		
会計区分	一般会計		政策・施策名	11 ICTの利活用及び技術研究開発の推進 41 技術研究開発を推進する				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	-		関係する計画、通知等	社会資本整備重点計画(平成24年8月閣議決定) 社会資本の維持管理・更新に関し当面講ずべき措置(平成25年3月社会資本の老朽化対策会議)				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	高度経済成長期に集中的に整備された社会資本の老朽化が進んでいるが、現行の技術により数多く存在する社会資本の安全性・信頼性をチェックするには膨大な時間を要することから、社会資本の老朽箇所等の効率的な特定手法を確立することにより、今後継続的に実施しなければならない交通インフラの維持管理・更新を適切かつ効率的に実施できる環境を整備することを目的とする。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	今後老朽化が進んでいく社会資本の維持・管理を適切に実施するためには、定期的かつ効率的に現状把握を実施することが不可欠である。そのため、先端的な技術開発の成果を活用し、空港や港湾等の舗装構造物等の簡便かつ効率的な健全性評価手法や欠陥検査手法を確立する。							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)		22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求		
	予算の状況	当初予算	-	-	-	-	-	
		補正予算	-	-	250	-	-	
		繰越し等	-	-	-250	250	-	
		計	-	-	0	-	-	
		執行額	-	-	0	-	-	
	執行率(%)	-	-	-	-	-		
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	22年度	23年度	24年度	目標値 (年度)
	社会資本の老朽箇所等の効率的な特定手法の開発を推進し、平成26年3月を目途に、社会資本の戦略的な維持管理・更新を適切かつ効率的に推進する環境を整備するものであり、成果目標及び成果実績を明示的に示すことは困難な性質のものである。		成果実績	-	-	-	-	-
			達成度	%	-	-	-	-
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込
	社会資本の老朽箇所等の効率的な特定手法の確立件数		活動実績	-	-	-	-	-
			(当初見込み)	-	-	-	-	(3)
単位当たりコスト	-		算出根拠	-				
平成25・26年度予算内訳	費目	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由				
	-	-						
	計	-						

事業所管部局による点検					
	項目		評価	評価に関する説明	
国費投入の必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。		○	設置から相当年数経過している膨大な数の交通インフラは、老朽化等による事故が発生した場合に社会・経済活動に大きな影響が生じることから、老朽箇所等の効率的な特定手法を確立する緊急性が高いため、国として実施すべき事業である。	
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○		
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。		○		
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		○	企画競争等により公募をした上で、受注者を選定しており、競争性を確保している。	
	受益者との負担関係は妥当であるか。		-		
	単位当たりコストの水準は妥当か。		-		
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		-		
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		○		
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		-		
事業の有効性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		-		
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		-		
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		-		
重複排除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		-		
	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名		
点検結果	設置から相当年数経過している膨大な数の交通インフラは、老朽化等による事故が発生した場合に社会・経済活動に大きな影響が生じることから、老朽箇所等の効率的な特定手法を確立することは緊急性が高いため、国として実施すべき事業であり、また、企画競争等により公募をした上で、受注者を選定しており、競争性を確保しているため、事業として妥当なものである。				
外部有識者の所見					
行政事業レビュー推進チームの所見					
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況					
備考					
関連する過去のレビューシートの事業番号					
	平成22年		平成23年		平成24年

※平成24年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。



資金の流れ
(資金の受け取り先が何を
しているかについて補足する)
(単位:百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」に
 おいてブロックご
 とに最大の金額
 が支出されている
 者について記載
 する。費目と使途
 の双方で実情が
 分かるように記
 載)

A. 東亜道路工業(株)			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
役務費	舗装下部構造の効率的な健全性判定手法の開発	15			
計		15	計		0
B. (独)海上技術安全研究所			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
役務費	航路標識等の腐食劣化診断モニタリング技術の開発	80			
計		80	計		0
C. (独)港湾空港技術研究所			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
役務費	係留施設等の点検診断技術の検討業務	155			
計		155	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	東亜道路工業(株)	舗装下部構造の効率的な健全性判定手法の開発	15	—	—
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(独)海上技術安全研究所	航路標識等の腐食劣化診断モニタリング技術の開発	80	—	—
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

C.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(独)港湾空港技術研究所	係留施設等の点検診断技術の検討業務	155	—	—
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					